

はくろの散歩 3rd～明日に向かって～ VOL5

【次なる Students of Liberty に向けて
～令和元年度体育部門終了～】

6月22日(土)に予定していた体育部門も、土曜日、日曜日の雨天の影響でやむなく延期。順延最終日となる6月25日(火)には天候が回復し、ようやく開催することができました。当日は、グラウンドもちょうどよい湿り気があり、砂ぼこりも立たず、ベストコンディションで実施することができたと思います。今年度は、1年生から6年次生まで、全生徒が参加した応援合戦に加え、ムカデ加勢綱引きといった新たな種目にも挑戦しました。昨年度は荒天により途中で中止となった体育部門でしたが、昨年度の想いも込めて今年は全学年が一致団結したパフォーマンスを見せてくれたと思っています。来年度もまた進化した体育部門となるよう「次なる Students of Liberty (生徒主体)」に向けて期待が膨らみます。平日開催となりましたが、多くの保護者の皆様に飲料提供・販売のご協力をいただきました。そして、大きな事故もなく終了することができました。改めて感謝申し上げます。

【考える授業～授業風景より～】

毎年、5月から6月にかけて全ての先生の授業を見学しています。一部を紹介すると、1年生の国語では、物語の冒頭と結末に着目して人物の変化を読み取る力を育成する授業。2年生の数学では、関数や比例をもとに2次関数の意味を理解し、次年度の3次関数に広げられる力を育成する授業。4年次の近現代と神奈川では、第二次世界大戦の敗戦から日本が国際社会の中でいかに復興し発展していくかを考えることで幅

広い知識と社会性を養う授業。5年次の英語表現では、義務・必要・忠告・推量を表す助動詞を実際の場面で使えるようにする授業。6年次の生物の授業では、コハク酸脱水酵素の実験をとおして呼吸の反応の場と流れを知りクエン酸回路を理解する授業。私が見た全ての授業において、生徒同士が話し合い、自分の考えを発表し合うなど、思考を深めていく授業展開となっています。基礎的知識・技能を身に付けていくことは大切ですが、現在は、その知識・技能を活用して「考えを深める」授業を展開していくことが求められており、本校ではこうした授業実践をとおして授業の質を高めています。10月には、公開授業も予定しています。是非多くの方に参観いただき、ご意見をいただければ幸いです。

【新聞記事より】

7月9日付神奈川新聞の教育欄に「“海外トップ大”志願増～柔軟で幅広い学び魅力」といった記事が掲載されていました。海外の名門大を直接目指す高校生が日本で増えているそうです。なぜ、“海外トップ大”なのか。記事の内容を一部紹介すると、ある1年生の学生は「日本の大学では、先生が教科書の内容をそのまま板書する授業に、その場にいる意義を感じなかった。〇〇大学では友達と協力して答えを導き出す授業が多く、学ぶのが楽しい」と感想を述べています。また、在学生の多様性や、幅広く学んでから専攻を絞れる柔軟さ、ディスカッションで仲間と切磋琢磨して学ぶ授業形式も、日本のトップクラスの高校生を引き付けているようです。